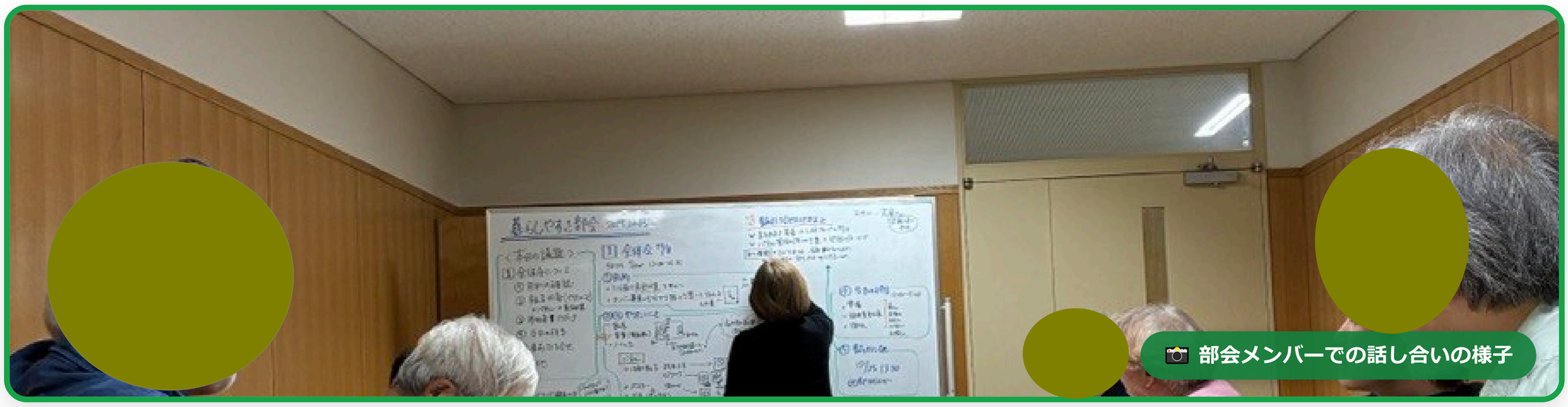
高円寺地域（仮称）デザイン会議

暮らしやすさ部会



🤔 皆さんは、「高円寺」と言うと何を連想しますか？

AIに「高円寺を連想させるキーワードや特徴」を聞いてみると、サブカルチャーと下町の人情が混ざり合う独特の空気感と出てきました（東京高円寺阿波おどり・古着の街・ライブハウスなど）。皆さんも、いろいろなことを想像すると思います。

💬 部会メンバーでの話し合いと試行錯誤

部会メンバー同士で「高円寺」「高円寺らしさ」などについて話し合いをしました。意見を出し合い、ひとつにまとめるつもりはありませんでした。出てきた意見があまりにみんな違っていて、どうしたらよいか迷いました。
そこで、こんな活動をしてみました。

🚶 街歩き

「高円寺の街歩き」をして、高円寺らしさについては部会メンバーがそれぞれ考えてみました。

🎤 ヒアリング

「高円寺で活動している方々にヒアリング」をして、高円寺らしさについて聞いてみました。

今回はその活動の結果報告となります。

💡 この活動をしてわかったこと

部会メンバーで「高円寺」を考えると、ひとりで考えるのとは違い、いろいろな意見を聞けて楽しいということです。

☕ 皆さんへのお誘い

皆さんとも「高円寺」「高円寺らしさ」についておしゃべりができたらいいなと思っています。
お時間のある方はお茶やお菓子をご用意していますので、部会メンバーとおしゃべりしてください。
ごゆっくりとご覧ください。

活動を始めたばかりですが、皆さんにご覧になっていただければ幸いです！

ごゆっくりどうぞ♪

本展示は、高円寺地域（仮称）デザイン会議のテーマ部会で、参加者が話し合いや活動を通じて整理したものです。掲載している内容は、部会参加者の意見や提案、活動成果をまとめたもので、杉並区として決定した内容ではありません。

高円寺地域(仮称)デザイン会議
暮らしやすさ部会

活動報告 1

高円寺北口まちあるき
それぞれの視点からまちを見てみよう！

暮らしやすさ部会は月1回のペースで会合を開いています。

様々な意見を出し合ってきましたが、話し合いだけで終わらせないために、実際にまちの様子を見てみようと、2026年5月にメンバーでまちあるきを行いました。



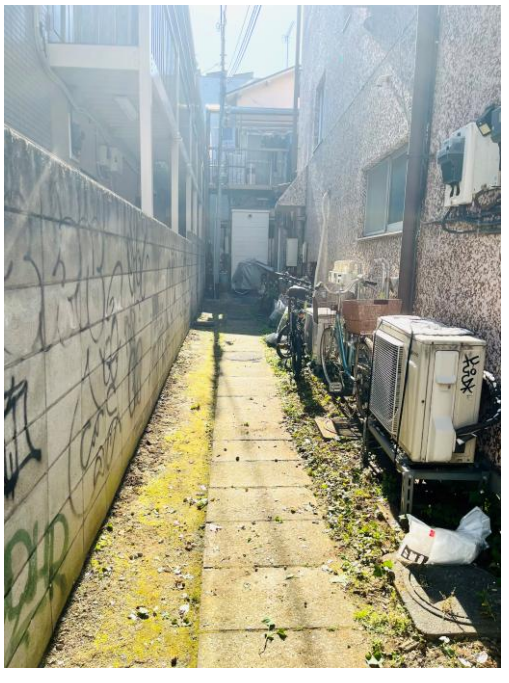












本展示は、高円寺地域（仮称）デザイン会議のテーマ部会で、参加者が話し合いや活動を通じて整理したものです。掲載している内容は、部会参加者の意見や提案、活動成果等をまとめたもので、杉並区として決定した内容ではありません。

高円寺地域（仮称）デザイン会議

暮らしやすさ部会

ヒアリング速報①：地域の居場所づくりの実践「多満りば」

高円寺らしさを深ぼり！

居場所作りは、おばあちゃん・母・自分の思い。

・「地域のために何かしたい（祖母と母の夢）」 ／ ・「60になったら動けない、今しかない！とケアマネを辞めた（笑）」

多満りば

高円寺在住三代目

2026年7月OPEN・全8席

名物 お任せランチ (900円)

毎日おかずが変わります♪

机の高さ 65cm　座りやすいソファ

「小柄な方や子どもでも食べやすいよう一般家庭(70cm)より低い65cmに。椅子が硬くて長く座れないという声からソファも導入！」

カフェ・居場所でなく「住んでる人が行く店」がほしい

「外から来る人の店は多いけど、住んでる人が行く店がなくなってる」

孤立・孤独対策

「ケアマネ時代、孤立・孤独な人をたくさん見てきた。そういう人が表に出るには、身近に気軽に行ける店があるといいなって」

おじいちゃん・おばあちゃん

子ども連れの夫婦

「高齢者限定ではなく、赤ちゃん連れのお父さんも！」

地域のみんな（口コミの輪）

「大きく宣伝はしてない。公民館は遠いけど、ここで仲間と駄弁ったり、休日に貸切で使ってもいい」

高円寺のここが好き！

誰も気にしてくれないところ（気を使わなくていい）

「何をやっても『あの人おかしい』と言われず自分のスタイルでいられる」

「娘もすぐ戻ってきた。もう高円寺から出る気は全然ないね！」

ヒアリング要旨（多満りば）

実施日：2026年10月1日 ／ 場所：多満りば（高円寺北4丁目）

① まちとの関わり （仕事や活動・きっかけ）	・高円寺に親子3代で居住。元ケアマネージャーとして地域の孤立・孤独を多く見てきた経験から、「住民が身近に行ける店」を作りたいと2026年7月に『多満りば』を開業。 ・祖母の「地域のために何もできなかった」という遺言や、母の店をやりたいという夢を、自分が動ける60歳前の「今しかない」と形にした（用途変更や届出確認もすべて独力で実施）。
② 高円寺の現状と今後のあり方 （魅力・気になること・残したいこと）	**現状の変化** 昔は商店街（中通り等）に常に人の目があり家族連れも多かったが、今は単身者や飲食店・古着屋が増え、住民が落ち着ける昔の喫茶店がなくなった。 **気になる課題** 町会に入らないと近所のつながりがなく、町会自体も75歳以上の高齢化で新しい意見が通りにくい。また、障害のある方など多様な人への地域の理解はまだ浅く、行政の力が必要。 **今後のあり方** 大きく宣伝して外から人を集めるのではなく、近隣の人が口コミで集まり、愚痴を言ったり、休業日に貸し切って少人数で集まれる「公民館より身近な居場所」にしたい。
③ 高円寺らしさとは （思い浮かぶこと）	・「誰も気にしてくれないところ（＝自分が気を使わなくていいところ）」。 ・何をやっても「あの人おかしい」と言われず、自分のスタイルでいられる「来るもの拒まず」の自由な空気感。 ・結婚して一度街を出てもすぐ戻ってきたくなる、「ここから出る気は全然ない」と思える住みやすさ。

本展示は、高円寺地域（仮称）デザイン会議のテーマ部会で、参加者が話し合いや活動を通じて整理したものです。掲載している内容は、部会参加者の意見や提案、活動成果をまとめたもので、杉並区として決定した内容ではありません。

高円寺地域（仮称）デザイン会議
暮らしやすさ部会

まちあるきのふりかえり

まちあるき後には、個々の感想を述べあいました。様々な点から意見が出され、まちあるきから得た発見を今後の部会活動にどうつなげていくかを考えました。

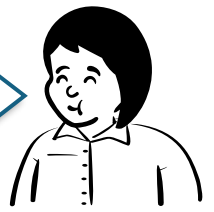
それぞれの視点

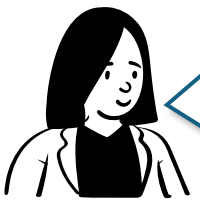
- ✓ まちの方向性
- ✓ 防災
- ✓ みどり
- ✓ 居場所やフリースペース



地元が愛して支えている店を残せるまちだと思う。
カオスを受け入れつつ、混とんとまではいかない、中間の感じ。

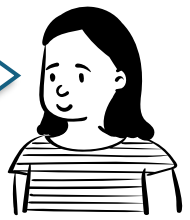
店舗と住宅、生活している人と高円寺を訪れる人、誰にとっての暮らしやすさを考えるかがポイントかな。





子ども達や親子の居場所があるのは良いけれど、住民が集まれる場所が少ない気がした。

商店街と住宅地はある程度分けられているけれど、隣接しているね。そこに難しいところがありそう。



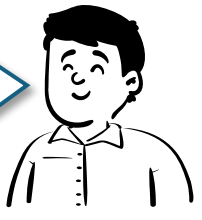


思った以上に行き止まりや出られなくなる道があるね。
火災や地震の時どうなるのか。事前の情報発信も必要かも。

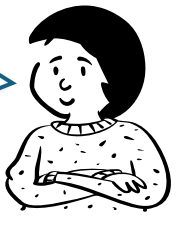


安全性で気になることがあった。
通路にある植木鉢や瓶。すぐに対策できることじゃないのかな。

まちを歩いている途中で、休めるスペースがあると良い。人がたまれるフリースペースを作れないかな。



草花を自宅で手入れしている人も多い。
屋敷林も残せるように、緑を残し、育てることを促進する仕組みが考えられるといいと思う。



本展示は、高円寺地域（仮称）デザイン会議のテーマ部会で、参加者が話し合いや活動を通じて整理したものです。掲載している内容は、部会参加者の意見や提案、活動成果等をまとめたもので、杉並区として決定した内容ではありません。

高円寺地域(仮称)デザイン会議
暮らしやすさ部会

活動報告 2

まちで活動する人にヒアリング
《高円寺らしさ》を深ぼりしてみよう！

暮らしやすさとは、誰にとっての暮らしやすさなのか？

高円寺らしさを残す、その高円寺らしさとは何なのか？

住み続けられるまちを目指すためのヒントを見つけ、「高円寺らしさ」とは何なのかを考えるために、まちで活動する方々へのヒアリングを開始しました。

今の高円寺をどう考えているか、高円寺の良さ、こういうものを残したい、ここは変えたい、こんなものがあると良いなど、高円寺で店舗運営、イベント開催、居場所づくりに関わっている人、まちの歴史に詳しい人など、多様な方々のお話をお聞きしたいと考えています。

部会の話し合いで出されたキーワード

AI活用した「ワードクラウド」という方法で、頻繁に出された言葉ほど大きく表示しています。



本展示は、高円寺地域（仮称）デザイン会議のテーマ部会で、参加者が話し合いや活動を通じて整理したものです。掲載している内容は、部会参加者の意見や提案、活動成果等をまとめたもので、杉並区として決定した内容ではありません。

あなたにとっての《高円寺らしさ》とは？

皆さんの考える『高円寺の良さや魅力』を教えてください。

ご意見ありがとうございます！



本展示は、高円寺地域（仮称）デザイン会議のテーマ部会で、参加者が話し合いや活動を通じて整理したものです。掲載している内容は、部会参加者の意見や提案、活動成果等をまとめたもので、杉並区として決定した内容ではありません。

高円寺地域(仮称)デザイン会議
暮らしやすさ部会

杉並区公民連携プラットフォームすぎなみボイスで寄せられた《高円寺らしさ》に対するご意見

喫茶店でありギャラリーでもあったり、数々のミュージシャンが無名時代に出演していたライブハウスが荻窪から高円寺に移って今も営業していたり、子育てなど社会生活を営みながら非日常的なことにも触れられる機会がたくさん転がっている稀有な街。

本屋さんがたくさんあって楽しいです。高円寺「本の街商店会」のMAPをもらったときに、多いとは思っていたけど、こんなに！と、驚きました。

高円寺駅南口の高南通りをなだらかに下り、南中央通り交差点で再び上りに転じて五日市街道、青梅街道交差点に向かう景色が開放感があり好きです。

古着の街。闇市の雰囲気を残した猥雑さが魅力。ライブハウスや個人経営の飲食店も多く文化的なイメージです。あと物価が安いと聞く笑。色々な個性を受け入れてくれそうな懐の深い街だと感じます。ガード下で昼間から飲んでるのもよい。道の細かさ複雑さも街を単純化せずに賑わいを生む要素だと感じます。

【ひとことポスト】
あなたが感じる“高円寺らしさ”

30代になると急激に好きになる街，高円寺。食事や娯楽、誰かに合わせるのではなく自分の好きなことを選べるようになると、この街の良さが分かってくる。成熟なんて言葉よりは、「熟した街」という表現が似合う。

高円寺生まれ高円寺育ち。阿波おどりの時期は毎年の楽しみ。練習場所が制限されてしまったが、お囃子の音が聞こえると夏が待ち遠しく感じる。

4年くらい前に杉並にひっこしてきました。もともと板橋区民でしたが、杉並の治安の良さ、すみやすさ、地域のイベントの多さに驚き、感動の日々です。

かつては小売店だった場所が飲食店に業態が変わり続けていて街全体が騒がしく落着きのない雰囲気になりました。特に新型コロナ以降は居酒屋が増え、純情商店街は飲み屋街に変貌してしまいました。他の街等から遊びに来る人達向きの街になっていると思います。

出典：杉並区公共連携プラットフォームすぎなみボイス（意見の一部を抜粋）

本展示は、高円寺地域（仮称）デザイン会議のテーマ部会で、参加者が話し合いや活動を通じて整理したものです。掲載している内容は、部会参加者の意見や提案、活動成果等をまとめたもので、杉並区として決定した内容ではありません。

高円寺地域（仮称）デザイン会議

暮らしやすさ部会

🌸 **本日はご来場いただき、誠にありがとうございました！**

私たちがめざすのは、誰もが自分らしく暮らし、温かくつながり合える高円寺の未来です。

防災（つながりの再生）

顔の見える関係性　日常のコミュニティ

道やハードだけでなく、日頃の温かいつながりや顔の見える関係性こそが、災害に一番強い街をつくる！

ヒアリング（地域の居場所）

サードプレイス　街のキーマン

街のキーマンを訪ね、そこで暮らす人・営む人の生の声と知見を大切にすくい上げ、実践に活かす。

これまでの歩みとこれからの挑戦

高円寺デザイン会議

居場所づくり（多世代交流）

孤立・孤独対策　フリースペース

子どもから子育て世代、お年寄りまで誰もが気軽に集えるフリースペースや温かい交流の場を増やす！

みどり（環境・循環）

屋敷林・草花　カーボンハーフ

軒先の草花や屋敷林などの緑の風景を守り、暑熱対策やカーボンハーフなどの科学的知見も取り入れる。

私たちの歩みと呼びかけ（暮らしやすさ部会より）

「高円寺デザイン会議」で、私たちは初めて出逢いました。
この出会いを大切にしてお互いを知り合うことから始めました。
高円寺への思いなど時間をかけて話し合いを続けて来ました。
高円寺の魅力・良さを確認することを大切にし、街の人に聞くことを始めました。
この「暮らしやすさ」の対話を踏まえて、
これから「防災」「みどり」「居場所づくり」の具体的な取り組みへと広げていくところです。
いっしょに高円寺の街づくりをしていきませんか。

🙌 **今後は… いっしょに高円寺の街づくりをしていきませんか？**

古くから住む方も新しい方も大歓迎！まずは月1回の「見学」からお気軽にどうぞ♪

会場のメンバーへお声がけください♪

本展示は、高円寺地域（仮称）デザイン会議のテーマ部会で、参加者が話し合いや活動を通じて整理したものです。掲載している内容は、部会参加者の意見や提案、活動成果をまとめたもので、杉並区として決定した内容ではありません。